記載例

長 期 療 養 計 算 書

（金額単位：円）

支払月	医療費（A）	薬局の調剤費（B）	その他（C）	医療費控除額（A＋B＋C）
7 月	[illegible]	2,565	7,423	10,58[illegible]
8 月	[illegible]	2,565	10,526	[illegible]
9 月	60[illegible]	[illegible]	[illegible]542	[illegible]
10 月	9,0[illegible]	[illegible]	[illegible]70	15,357
11 月	4,500	3,487	7,659	15,646
12 月	25,000	6,974	12,648	[illegible]
小計				126,511
推計年額（ア）×２				（イ） 253,022

直近の６か月分を記入してください。
提出時期により、①7～１２月と
②8～１月の支払月が記入されます。

その月に自己負担した
医療費の合計（A+B+C）
を記入してください。

A～Cに自己負担額を記入してください。

６か月分の医療費（ア）を
２倍して、１年分の医療費
の概算額を出します。

推計年額 ※上記（イ）を記入	医療費の還付金額 （ウ）	長期療養費（エ） （イ）－（ウ）
253,022 円	77,164 円	18 万円

（みなし）
万未満切り上げ

この金額を家庭状況書
へ転記します。

注１）この計算書は、療養者１人につき１枚必要です。

注２）あくまでも治療・療養にかかる経費が対象です。
食費・住居費・光熱水費・通信費・被服費・介護施設の利用料・入院時の差額ベッド代・
食事療養費・保険適用外の文書料等は<u>対象となりません。</u>

注３）医療費の還付金額は、高額医療費、個人医療保険等の還付金がある場合に記入してください。

注４）実際に支出した金額を記入してください。（見込み金額は不可）

注５）家庭状況書には長期療養費（エ）の金額を記入してください。

注６）領収証のコピーを提出していただく場合があります。

<u>医師の診断書を添付してください。</u>
診断書の有効期限は、療養期間の記載がある
場合は、その期間内の申請であれば有効とし、
記載がない場合は、診断書記載日より原則
３か月以内の申請であれば有効とします。